

# 安全データシート

作成日 2006年 7月 1日  
改定日 2020年 1月30日

## 1.製品及び会社情報

製 品 名	サンデックスS-500J
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M1102

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類

#### 急性毒性

経 口 :	区分外
経 皮 :	分類できない
吸入 (ガス) :	分類対象外
吸入 (蒸気) :	分類できない
吸入 (粉塵、ミスト) :	区分外
皮膚腐食性/刺激性 :	区分2
眼に対する重篤な損傷性/ 刺激性 :	区分2

#### 感作性

呼 吸 器 :	分類できない
皮 膚 :	分類できない
生殖細胞変異原性 :	区分1
発 がん 性 :	分類できない
生 殖 毒 性 :	区分1

#### 特定標的臓器/

全身毒性(単回暴露) : 区分外

#### 特定標的臓器/

全身毒性(反復暴露) : 区分外

吸引性呼吸器有害性 : 区分外

#### 水生環境

急性有毒性 : 区分3

慢性有毒性 : 区分3

オゾン層への有害性 : 分類できない

### GHSラベル要素



注 意 喚 起 語 : 危険  
 危 険 有 害 性 情 報 : 皮膚刺激  
 強い眼刺激  
 遺伝性疾患のおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注 意 書 き : 《安全対策》

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用し飛散させないように取扱うこと。  
 取扱い後は、手、顔をよく洗うこと。  
 環境への放出を避けること。

## 《応急》

皮膚(又は髪)に付着した場合、多量の水で洗うこと。  
 皮膚刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。  
 汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。  
 暴露又はその懸念がある時、医師の手当を受けること。

## 《保管》

施錠して保管すること。

## 《廃棄》

内容物／容器を許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し、廃棄すること。

## 3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物  
 化学名又は一般名： ラテックス入りアスファルト乳剤  
 成分表示：

主成分	含有量	化審法番号	CAS番号
石油アスファルト	非公開	9-1720	8052-42-4
ラテックスポリマー	非公開	非公開	非公開
エタノール	0.3%未満	2-202	64-17-5
メタノール	0.1%未満	2-201	67-56-1
イソプロピルアルコール	0.1%未満	2-207	67-63-0

GHS分離に寄与する不純物

及び安定化添加物： 特になし

## 4.応急措置

吸入した場合： 蒸気を吸入して不快、頭痛等がある場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。  
 皮膚に付着した場合： 皮膚に触れた部分を速やかに水または石けんにて洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す。  
 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は速やかに医師の手当てを受ける。  
 眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上充分洗浄し、医師の手当てを受ける。  
 飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませ吐かせる。その後、医師の手当てを受ける。  
 最も重要な徴候及び症状： 特になし

## 5.火災時の措置

消火剤： 水、炭酸ガス、乾燥砂、ドライケミカル等一般消火剤  
 使ってはならない消火剤： 棒状の水は、火災を拡大し危険な場合がある。  
 特有の消火方法： 製品乾燥物に着火した場合は、注水・水噴霧・ドライケミカル等一般消火剤を使用し、消火作業は可能な限り風上から行う。  
 消火を行なう者の保護： 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項／  
 保護具及び緊急時措置： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、長靴、ゴーグル等)を着用する。  
 環境に対する注意事項： 河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。  
 拡散を防ぐため、土のう等で拡散を防止し、セメント、砂等を散布する。  
 水中に漏出したときには、油吸着マット等で拡散を防止する。  
 除去方法： 大量流出の場合は、土砂あるいは油吸着マットなどで流れを止め、バキューム等で吸い上げる。  
 少量の場合は、土砂、セメントなどに混ぜてモルタル状として凝固回収する。

二次災害の防止策： 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの処置を行い、立入を禁止する。

## 7.取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策： 眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。  
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。  
高温物、火災を避ける。  
凍結させると製品としての機能が損なわれるため、凍結させない。  
被膜防止のため、容器を密封して保管する。

局所排気、全体換気： 取扱う場所は、局所排気または全体換気のある場所で行う。

安全取扱注意事項： 水と反応する物質を近くに配置しない。

### 保管

適切な保管条件： 変質(変形)を防止するため、凍結、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて30℃以下の冷暗所で保管する。  
使用後は空気に触れないよう密閉し、長期間の保管を避けるとともに異物の混入にも注意する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

安全な容器包装材料： 容器包装材料は、製品使用の容器に準ずる。

## 8.暴露防止及び保護措置

設備対策： 室内で取扱う場合は、局所排気装置または全体換気装置を設置することが望ましい。  
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

管理濃度／許容濃度： 管理濃度

メタノール	作業環境評価基準：200ppm
イソプロピルアルコール	作業環境評価基準：200ppm

許容濃度

メタノール	日本産衛学会200ppm:260mg/m <sup>3</sup> (皮)
イソプロピルアルコール	日本産衛学会(最大値)400ppm:980mg/m <sup>3</sup>
エタノール	ACGIH TWA(上気道及び眼刺激;中枢神経系損傷)

### 保護具

眼の保護具： 側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型保護眼鏡

手の保護具： 不浸透性ゴム手袋(耐油性であることが好ましい)

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスクやエアラインマスク等

皮膚及び身体の保護具： 長袖作業着、安全靴

適切な衛生対策： 作業中は飲食、喫煙をしない。作業後は手をよく洗う。

## 9.物理的及び化学的性質

形状： 液体  
色： 黒褐色  
臭い(臭いの閾値)： データなし  
融点： 0℃  
沸点： 約100℃  
爆発範囲： 該当しない  
蒸気圧： 該当しない  
比重(相対密度)： 約1.0g/m<sup>3</sup>  
溶解性： データなし  
その他のデータ： 特になし

## 10.安定性・反応性

安定性： 通常の保管・取扱い条件で安定。

危険有害反応可能性： 通常の保管・取扱い条件で安定。

避けるべき条件： 凍結させないこと。

混触危険物質： 生石灰、金属ナトリウム等の水と反応する物質

危険有害な分解生成物： 特になし

## 11.有害性情報

急性毒性：

アスファルト	5000 mg/kg以上	経口ラット (LD <sub>50</sub> )
アスファルト	2000 mg/kg以上	経皮ウサギ (LD <sub>50</sub> )

皮膚腐食性／刺激性： 区分2 皮膚刺激がある物質を含む。

眼に対する重篤な損傷性  
／刺激性： 区分2 強い眼刺激がある物質を含む。

呼吸器感作性／皮膚感作性： データなし

生殖細胞変異原性： 区分1 遺伝性疾患のおそれがある物質を含む。

発がん性： データなし

生殖毒性： 区分1 生殖能又は胎児への悪影響のおそれがある物質を含む。

特定標的臓器/  
全身毒性(単回暴露)： データなし

特定標的臓器/  
全身毒性(反復暴露)： データなし

吸引性呼吸器有害性： データなし

## 12.環境影響情報

水生環境有害性(急性)： 区分3 水生生物に毒性がある物質を含む。

水生環境有害性(慢性)： 区分3 長期継続的影響によって水生生物に毒性がある物質を含む。

残留性／分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壌中の移動性： データなし

オゾン層への有害性： データなし

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物： セメント等で固化処理した後、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関連法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器： 内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関連法規・法令を遵守して、適正に処理する。

## 14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策

及び条件： 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

応急措置指針番号： なし

国際規制： 航空輸送はIATA、海上輸送はIMDGの規則に従う。

国連分類： 分類基準に該当しない

国連番号： 分類基準に該当しない

品名(国連輸送品名)： 分類基準に該当しない

容器等級： 分類基準に該当しない

海洋汚染物質： メタノール(Y類)、イソプロピルアルコール(Z類)、エタノール(Z類)

## 15.適用法令

化学物質管理促進法： 該当せず

消防法： 該当せず

労働安全衛生法： 労働安全衛生法第57条(表示対象物質:アスファルト)  
労働安全衛生法第57条の2(通知対象物:アスファルト)

海洋汚染防止法： 油分排出規制

下水道法： 鉱油類排出規制

水質汚濁防止法： 油分排出規制

廃棄物の処理及び

清掃に関する法律： 産業廃棄物規制

---

## 16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。

---